

# 衆議院財務金融委員会ニュース

平成 21.1.13 第 171 回国会第 2 号

1 月 13 日（火）第 2 回の委員会が開かれました。

- 1 平成 20 年度における財政運営のための財政投融资特別会計からの繰入れの特例に関する法律案（内閣提出第 1 号）  
銀行等の株式等の保有の制限等に関する法律の一部を改正する法律案（柳澤伯夫君外 8 名提出、衆法第 1 号）
- ・両案及び に対する修正案について、麻生内閣総理大臣、中川財務・金融担当大臣、与謝野国務大臣（経済財政政策担当大臣）倉田財務副大臣、高市経済産業副大臣及び政府参考人並びに提出者大野功統君（自民）及び野田毅君（自民）に対し質疑を行いました。
  - ・木村隆秀君（自民）から質疑終局の動議が提出され、採決を行った結果、賛成多数をもって可決されました。
  - ・ に対する修正案に対し、国会法第 57 条の 3 の規定により内閣の意見を聴取したところ、中川財務大臣から、「反対である」旨の発言がありました。
  - ・ に対し、国会法第 57 条の 3 の規定により内閣の意見を聴取したところ、中川金融担当大臣から、「異議は無い」旨の発言がありました。
  - ・両案及び に対する修正案について、佐々木憲昭君（共産）が討論を行いました。
  - ・ に対する修正案について採決を行った結果、賛成少数をもって否決されました。  
（賛成 - 共産、中村喜四郎君 反対 - 自民、公明、国民）
  - ・ について採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
（賛成 - 自民、公明、国民 反対 - 共産、中村喜四郎君）
  - ・ について採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
（賛成 - 自民、公明、国民、中村喜四郎君 反対 - 共産）

（質疑者及び主な質疑内容）

（ここから内閣総理大臣出席）

## 中 川 正 春君（民主）

- ・定額給付金について与野党間で協議を行うべきではないか。
- ・定額給付金に充てられる 2 兆円は他に適正な使途があるのではないか。
- ・市中銀行を利用した中小企業金融対策の妥当性について伺いたい。

たのか。

- ・中川財務大臣としては定額給付金が受け取られずに国庫に戻ってきたほうが良いと発言したが、その趣旨を説明してほしい。
- ・内閣府は、定額給付金に、実質 GDP を 0.2% 程度押し上げる効果があると試算しているが、その根拠は何か。

（ここまで内閣総理大臣出席）

## 松 野 頼 久君（民主）

- ・平成 21 年税制改正法案には消費税について文言を盛り込む予定か。
- ・定額給付金について、当初の給付目的が変更されているのであれば補正予算を提出し直すべきではないか。また、麻生内閣総理大臣として受け取りの意思を明確にすべきであると考えているが、見解を伺いたい。

## 古 本 伸一郎君（民主）

- ・財政投融资特別会計を取り崩して財源に当てる今回の補正予算の内容は、緊急・臨時的措置に限られ、さらに精査が必要と考えるがいかがか。
- ・定額給付金について中川大臣はどのように評価するか。
- ・現在の為替相場についての中川大臣の認識について伺いたい。

## 佐々木 憲 昭君（共産）

- ・麻生内閣総理大臣は、高額所得者が定額給付金を受け取ることを「さもしい」と表現したが、これは撤回し

## 佐々木 憲 昭君（共産）

- ・銀行等保有株式取得機構による株式の買取及び処分の実績はどのようにになっているか。

**宮 下 一 郎君（自民）**

- ・第2次補正予算の財源として財政投融资特別会計を活用することとしたのはどのような趣旨によるのか。
- ・なぜ第2次補正予算を早期に成立させる必要があるのか。
- ・銀行等保有株式取得機構を活用する仕組みや機能について伺いたい。